

新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会 第一回検討会

【新名神高速道路事業の概要】

西日本高速道路株式会社

関西支社

平成25年1月10日



新名神高速道路 事業中区間(大津～神戸)の状況

新名神高速道路(大津～神戸間) 79.8km

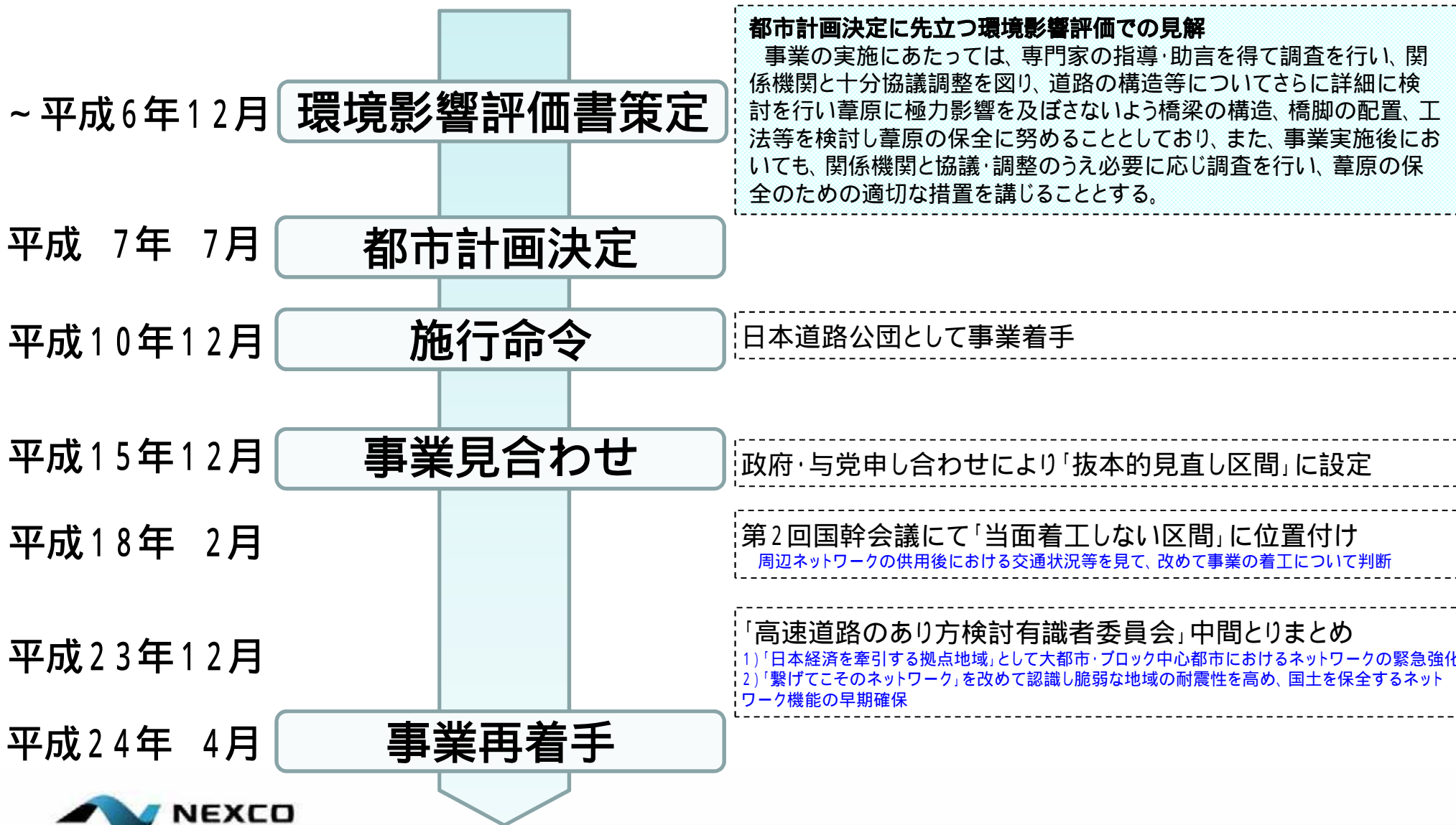
うち 八幡JCT～高槻JCT間 10.7km

城陽～八幡、高槻～神戸間:平成9～11年より事業着手を行い、現在工事実施中。

大津～城陽、八幡～高槻間:平成24年4月に**事業再着手**



新名神高速道路(八幡～高槻)事業経緯



都市計画決定に先立つ環境影響評価での見解
事業の実施にあたっては、専門家の指導・助言を得て調査を行い、関係機関と十分協議調整を図り、道路の構造等についてさらに詳細に検討を行い葦原に極力影響を及ぼさないよう橋梁の構造、橋脚の配置、工法等を検討し葦原の保全に努めることとしており、また、事業実施後においても、関係機関と協議・調整のうえ必要に応じ調査を行い、葦原の保全のための適切な措置を講ずることとする。

日本道路公団として事業着手

政府・与党申し合わせにより「抜本の見直し区間」に設定

第2回国幹会議にて「当面着工しない区間」に位置付け
周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断

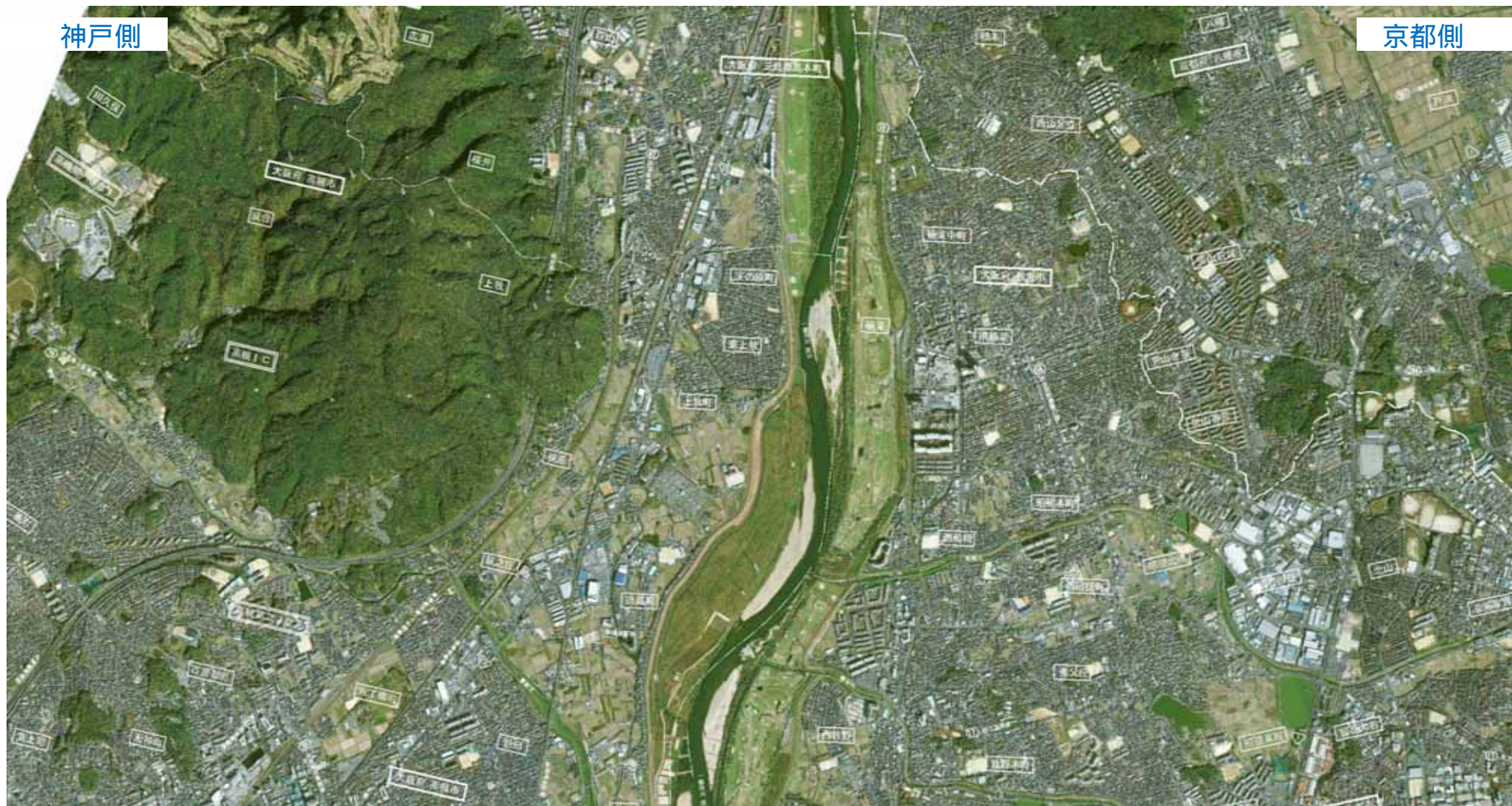
「高速道路のあり方検討有識者委員会」中間とりまとめ
1) 「日本経済を牽引する拠点地域」として大都市・ブロック中心都市におけるネットワークの緊急強化
2) 「繋げてこそそのネットワーク」を改めて認識し脆弱な地域の耐震性を高め、国土を保全するネットワーク機能の早期確保

新名神高速道路(八幡～高槻)航空写真



神戸側

京都側



新名神高速道路(八幡～高槻)計画路線図



高槻JCT

八幡JCT